

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和7年 4月 21日 ~ 令和7年 5月 10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	令和7年 4月 21日 ~ 令和7年 5月 10日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 5月 17日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所が広い	エリアを分けて、活動、遊び、学習を行うことができる。特に活動スペースでは、安全に身体を動かすことができるスペースが確保できる。	エリアで区分けされる分、スタッフがそれぞれのスペースに配置できるよう今後も引き続き継続して支援にあたっていく。
2	幅広い年齢層の他児との関わりが持てる	年齢層の異なる他児と過ごすことで、他児のいいところを見て真似をしたり、上下関係を学ぶことができる。 また、下の年齢の子には思いやりを持ったり、面倒を見るなど社会性を育むことができる。	グループでの活動を取り入れていくことでさらに見本を見る機会を設けたり、異年齢での関わりを増やすことができるような活動プログラムを考えしていく。
3	専門知識からの支援を行うことができる	教育、保育、福祉関係を経験してきたスタッフによる支援を行っており、それぞれの専門知識に基づく療育を行っている。また、他店舗を交えての研修を定期的に行うことでさらに知識を持って日々の療育を行うことができる。	店舗での研修を継続していくと共に、外部研修へも積極的に参加を行い、知り得たことをアウトプットしスタッフ同士の共有も行ってさらに子どもたちにとって良い療育ができるようしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われる ※事業所の課題や改善が必要だと思われる	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリーの設備が少ない	階段があることで、移動に困難さがある利用者もいる。 また、トイレや手洗い場に手すりがないことで介助がさらに必要になることがある。	すぐに改善できる事柄ではないため、現状あるもので引き続き介助を行う。
2	保護者同士の関わりが少ない	保護者同士が顔を合わせて意見交換や相談をする機会が少ない。 保護者や兄弟が参加できるイベントがない。	保護者参加ができる季節イベントを検討していく。
3			

保護者等からの事業所評価の集計結果									
事業所名		ステップサポートなかがわ							
		公表日 令和7年 5月 17日							
		利用児童数		7人		回収数		5人	
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3			2			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2			3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3			2			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5						
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4	1		・まだ初回モニタリングをしていないのでわかりません	・モニタリング時にしっかりと保護者の方のお話を聞きながら作成をさせていただきます		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	1	1	・まだ初回モニタリングをしていないのでわかりません	・モニタリング時に作成した計画書を提示しながら支援内容を説明させていただきます		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3	1	1	・まだ初回モニタリングをしていないのでわかりません	・送迎時や連絡帳を通して支援の様子をお伝えしたりモニタリング時にも計画書を提示しながら説明させていただきます		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されているだと思いますか。	5						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2		2	1	・特に求めていないので不満はありません	・今後活動する機会を増やせるように検討していきます	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3		1	1	・モニタリング時に説明があれば問題ありません	・今後も児童発達支援計画を提示しながら丁寧に説明を行っていきます	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。			4	1	・特に求めていないので不満はありません	・関わりを持ちたくないご家庭もあることから今後どのように実施していく事が適切か検討していきます	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			3	2	・特に求めていないので不満はありません	・関わりを持ちたくないご家庭もあることから今後どのように実施していく事が適切か検討していきます	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3		1	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			1		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3	1		1	・まだケガをしたことがないのでわかりません	・事故や怪我が発生した際には保護者の方に速やかに連絡をし、適切な対応（冷やす、病院に連れていく等）をします
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4	1			・「楽しい？」と聞くと必ず「楽しいよ」と答えます	・今後もこどもたちが楽しんで参加できる活動を取り入れていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	5				・丁寧に支援してくださっていると感じています。本当にいつもありがとうございます	・今後もこどもや保護者のニーズに合わせた丁寧な支援を行っていきます

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		ステップサポートなかがわ				公表日 令和7年 5月 17日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	利用人数に応じて、机やおもちゃの移動を行い活動に適した環境を整えている	今後も引き続き環境整備を行い、適切な環境で支援が行えるようにしていきます	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	活動や支援内容に応じて適時職員配置を考えている	今後も子どもの状況を確認しながら適切に職員配置をしていきます	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	3	活動スペースである室内をはじめお手洗い等も段差ではなくバリアフリーになっている	室内はフラットに整備されているが、玄関に数段の段差がある	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	毎日の清掃と食事やおやつ等で机を使用した際には適時清掃を行っている	汚れた際に子どもたちが気軽に使える雑巾などを用意しておく等更なる快適空間の提供を検討しています	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	活動中にも子どもたちが自由に使える落ち着ける場所として隔離できる個室を準備し、状況に応じて使用できるようになっている	今度も引き続き継続して対応していきます	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日活動の振り返りを出勤職員全員で行い、個々に応じた課題や改善策を話し合っている	更なる業務の効率化を図るために活動の振り返り方法や情報の共有方法を検討しています	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	毎年行い職員間で共有しています	結果の周知はされているが、それをもとにした具体的なケース検討を全て行うことはできていない	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	毎日朝と帰りに話し合いの場を設けて全員が気軽に意見を出し改善できる機会を作っている	今後も継続していきます	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	5	行っていない	今後の導入に向けて検討しています	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	適時知識や技術の向上のために療育に必要な基礎知識や個別の案件に対して効果的な支援方法を学ぶ機会を設けている	今後も継続していきます	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	同じ内容の活動であっても個別の課題に対して支援方法を変えて作成、ご家族にお伝えしている	発達がゆっくりなお子さんもいるため繰り返しの支援が退屈なものにならないように工夫していく必要がある	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	定期的なアセスメント以外にも個別に必要に応じた相談や課題対策を都度行っている	今後も継続していきます	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	児童発達管理責任者を中心に子どもに関わる全ての職員で課題等を話し合って計画を作成している	今後も継続していきます	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	日々子どもたちの様子を共有して支援を行っている	今後も継続していきます	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	保護者の方の協力の元、検査結果や日々の様子を照らし合わせて子どもの適応行動の状況を記録している	子どもたちの成長に合わせて適時アセスメントの更新を行っていく	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	本人支援や家族支援を軸に総合的に判断して今の子どもの支援に反映させている	今後も本人やご家族からのご希望に応じて話し合いの機会を設け必要に応じて個別支援計画の変更や具体的な支援方法の設定を行っていく	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	立案は職員全員で行い、最終的に担当者が案をまとめています	今後も継続していきます	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	固定化しないよう、プログラムの改善や職員の意見を取り入れています	今後も継続していきます	

	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	子どもの発達課題に合わせて個別活動と集団活動を取り入れて楽しんで参加できるようにしている	今後も継続していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝当日の活動について職員間で共有し、こどもたちの支援を行っています	今後も継続していきます
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日終礼を行い、改善点や気になったこどもの姿について共有しています	今後も継続してより良い支援に繋げていきます
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日終礼時に記録を行い、今後の支援の改善や新たな課題の発見に役立てている	今後も継続していきます
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	児童発達管理責任者を中心にこどもに関わる全ての職員で課題等を話し合って計画を作成している	今後も必要時応じてモニタリングや計画の見直しをしていきます
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達管理責任者が参加している	今後も継続していきます
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	必要に応じて情報共有を行い関係機関と連携していく	事業所としては情報共有をしながら支援を考えたいがご家族や関係機関が受け入れてくれない場合もある
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	必要に応じて情報共有を行い関係機関と連携していく	事業所としては情報共有をしながら支援を考えたいがご家族や関係機関が受け入れてくれない場合もある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	学校はデイの情報を特に求めてこないので、こちらからあえて渡しています	学校はデイの情報を特に求めてこないので、こちらからあえて渡しています
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	7	行っていない	今後の導入に向けて検討しています
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	行っていない	今後の導入に向けて検討しています
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	毎日送迎時に活動の様子やこどもたちの様子を毎回お伝えしています	今後もご家族からの情報も共有しながらこどもたちの支援に役立てていきたい
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	行っていない	なかなか時間が作れないでいるが今後時間を作って行つていけるように検討している
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に丁寧にお伝えしている	今後も継続していく、変更が生じた際やご家族から質問等があった際は適時対応していく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	基本的に対面でのモニタリングを行い児童発達管理責任者を中心に本人やご家族の意向を取り入れて作成している	今後も継続していきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	児童発達管理責任者を中心に話し合あって作成した支援計画を保護者の方に提示しながら説明を行い同意をもらっている	今後も継続していきます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	モニタリング以外でも保護者からの相談や悩みにはその都度必要に応じた面談や電話等でお話を伺い家族支援を行っている	今後も継続していきます

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	行っていません	あえて関わりを持ちたくないご家庭もある
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	その都度児童発達管理責任者を中心に対応を協議して適切に対応している	今後も継続していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	3	個人情報に配慮して現在は行っていません	個人情報や業務の効率化等を鑑み廃止にしたがそのことで保護者からの話題提示はありません
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いは職員全体で周知徹底している	今後も継続していきます
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	個々に応じて伝わりやすい方法を使用して情報を伝えている	今後もより良い方法を模索しながら情報の伝達をしていきたい
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	行っていない	あえて関わりを持ちたくないご家庭もある事に配慮して今後も行う予定はない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	全てにおいてマニュアルの策定をしている	マニュアルはあるが新しい職員や利用者が入った際に全てを周知することは出来ていない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	活動の中に避難訓練を取り入れて行っている	活動の中では毎回救出までの訓練は行えない
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時や状況が変わった際に保護者の方から状況をお聞きして職員間で共有している	今後も継続していきます
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	契約時や状況が変わった際に保護者の方から状況をお聞きして職員間で共有している	今後も継続していきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1	活動や支援内容に応じて適時職員配置を考え安全に過ごせるように配慮している	今後も継続していきます
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	契約時に保護者の方に説明をして変更が生じた場合は適時情報共有をしてる	今後も継続していきます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットが発生した場合は情報を共有して今後の対策を職員間で話し合い再発防止に努めている	今後も継続していきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	職員研修を行ったり虐待に該当する行為について共通認識を持てるようにしている	今後も継続していきます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	児童発達管理責任者を中心に対策を考え、児童発達支援計画に記載して保護者に説明を行っている	今後も継続していきます